

株式会社大野ナイフ製作所（金属製品製造業／岐阜県）【2023年1月計画認定】

- 刃物産地の関市で創業107年、大手刃物メーカーへのOEM供給により、海外富裕層向け高級包丁を製造。高級包丁ブランド「旬」が世界中で大ヒット、ブランド地位を確立。
- 多品種少量かつ製造工程が100以上に渡り、経験と勘による職人工程も多数含まれる中、量産供給と品質平準化を実現するべく、職人技を必要としない工程のロボット自動化、全工程の進捗状況の可視化など、ICT化の積極的な推進により生産性向上を達成。
- ICT化に際しては、IoT推進チームを立ち上げ、現場の声を踏まえ、ボトムアップによる改善を実現。今後も更なる業務効率化に向けて、継続的にシステム導入予定。

<会社紹介>

本社外観（関市）



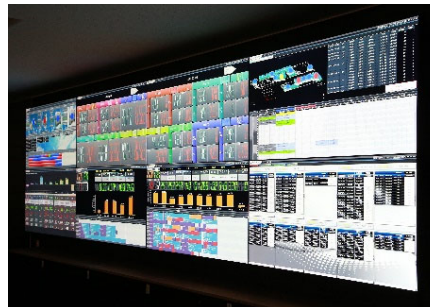
生産設備（自動化）



高級包丁ブランド「旬」



IoT生産管理システム



<具体的な取組>

- 中小企業経営強化税制を積極的に活用、各種自動化設備、生産管理システム等の設備投資によるICT化を通じて生産性向上を達成。
- IoT推進チーム主導の下、ベンダーから情報収集しつつ、現場の声を聞きながら、自社に合う形での生産管理システムを導入。結果、自動化設備の効果と併せ、売上が120%増加。また、人員配置見直しによる無駄削減により、残業時間8割削減。
- 自社ノウハウの蓄積により、OJTによる自前でのICT人材育成の他、他社への自社システム販売やコンサル業務を新たな事業としても展開。